

自己点検・自己評価報告書

令和6年4月1日

株式会社アーク教育システム

アルファ国際学院

令和6年4月1日作成

自己点検・評価項目

小項目の評価は、以下の分類とし、[]に記号を記入する。

- A : 達成されている
- B : ほぼ達成されているが、改善に取り組んでいる点がある
- C : 達成に向けて努力している
- D : 達成されていない / 取り組みを検討している

第1 設置者及びマネージメント

1 理念・教育目標

1-1 理念と教育目標

1-1-1 〈理念〉

「質の高い教育による、真の国際人の育成」の理念の下、「女性の活躍」「海外就職へのかけ橋」「シニアの第二の人生での活躍」など様々な状況や背景を持つ方に対して、職業訓練の場と位置づけて、受講生の人生を豊かにすることを目標として、受講生の方々の夢の実現のために、一人一人を大切に教育と就職サポートを行います。

1-1-2 〈教育目標〉

- 1) 卒業生(日本語教師)が就職する組織(日本語教育機関)の中で、組織の理念と規則を理解し、一般社会人として良識ある立ち居振る舞いができる。
- 2) 卒業後まもなくは、日本語教師の初任者のレベルであるが、クラスの目標、学習者個々の課題を理解し、チームの一員として先輩や同僚の日本語教師と協同して、シラバスや授業計画に沿った日本語教育を実践できる日本語教師育成を目標とする。
- 3) 日本語教師として日々研鑽の大切さを理解し、日々精進できる人材育成を目標とする。

[A] 1-1-3 理念と教育目標が教職員、学生に周知されている。

【達成状況】

学院の教育理念及び目標を全教職員で研修などを通じて共有し、受講生への指導の指針としている。また、受講生に対しては、教育目標を対面授業初日のオリエンテーションで講師から伝えており、周知徹底ができています。

【課題・改善計画】

今後も全教職員を対象とした研修を通じて、周知徹底の場を設けていく。

2 組織

2-1 組織体制

- [A] 2-1-1 事業規模に応じた組織体制になっている。
- [A] 2-1-2 受講生及び受講を希望する方に適切な説明やサポートができる体制が整っている。

【達成状況】

すべての校舎で、入学前に適切な説明ができ、入学おから受講中においてもいつでもサポートできる体制が整っている。

2-2 教員組織

- [A] 2-2-1 各校舎において本務等教授者が適切に配置されている。
- [A] 2-2-2 教員全て『日本語教員養成の教員要件』の条件を満たした者で適切な授業が行われている。
- [A] 2-2-3 学院長、副学院長、本務等教授者、常勤教員、非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められている。

【達成状況】

全ての教員が基準を満たしており、雇用契約書に職務、責任及び権限が明記されている。

2-3 教員の採用と育成

- [C] 2-3-1 教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されている。
- [A] 2-3-2 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取り組みをしている。
- [D] 2-3-3 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止などに関する研修を行っている。
- [A] 2-3-4 教員及び職員の評価を適切に行っている。

【達成状況】

2-3-1に関しては、明文化はされているが、採用サイト等の準備が整っておらず、外部に告知ができていないので、こちらはこれから準備をしていく予定2025年10月度の実現を目指す。

2-3-3に関しては、外部の機関に依頼をし、対象となる教員に対して、研修を実施していく。2025年9月に実施予定。

3 財務

3-1 財務状況

[A] 3-1-1 財務状況は、中長期的に安定している。

[A] 3-1-2 適正な会計監査が実施されている。

【達成状況】

銀行借入れなどの債務もなく、自己資金のみで運用ができており、安定した財務状況であると言える。

4 教育環境

4-1 設備

[A] 4-1-1 教室内は、空調、照明等学習に適した環境となっている。

[A] 4-1-2 すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。

[A] 4-1-3 教員及び教職員の執務に必要なスペースが確保されている。

[A] 4-1-4 受講生が進路相談や受講の相談などを受けられるスペースが確保されている。

[A] 4-1-5 受講生数に応じたトイレが設置されている。

【達成状況】

すべての施設が基準に適合している。受講生が学習するに際して、快適な環境で受講ができていると言える。

5 安全・危機管理

5-1 安全・危機管理

[B] 5-1-1 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている。

[D] 5-1-2 災害などに対する避難訓練を定期的実施している。

[D] 5-1-3 防災用品が備蓄されている。

【達成状況と改善策】

災害時の避難方法などは教職員間では認知されているが、受講生に対しての避難訓練を含めた認知がされておらず、今後定期的な避難訓練などを実施し、認知を促す。

6 法令遵守等

6-1 法令遵守

- [A] 6-1-1 個人情報保護のために、受講生の個人情報を守るための業務規程が徹底されている。
- [B] 6-1-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを実施している。
- [C] 6-1-3 文部科学省への報告事項が遅滞なく行われている。

【達成状況と改善策】

法令遵守に関する教職員間の意識の徹底は、定例会を通じて実施できているが、一部ハラスメント研修の実施がまだできておらず、今後より法令遵守の強固な意識作りを行っていく。

文部科学省などへの報告事項で一部誤り等単純なミスが散見される。改めて、手順や誤りがないかの確認体制を整えて改善を目指す。

7 受講生募集について

7-1 受講生募集について

- [B] 7-1-1 教育理念・教育目標・受講規定など、受講を希望する方に対して漏れなく実施できているか。
- [A] 7-1-2 募集定員規定に定められた受講生数の中で募集ができている。
- [A] 7-1-3 入学時に入学希望をされる先行順で入学募集ができているか。

【達成状況と改善点】

全体的に適正な募集活動ができているが、募集する際に教育理念と教育目標を完全にご説明できていない面も見られる。募集時の説明時に教育理念・教育目標を改めて受講規定と合わせて説明していくことを徹底する。

8 教育活動

8-1 企画

- [A] 8-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。
- [A] 8-1-2 教区目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている。
- [A] 8-1-3 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。
- [A] 8-1-4 教育目標及び教育内容に則した教材が選定されている。

[A] 8-1-5 教員の配置が適切に行われている。

【達成状況と改善点】

コース設定や教育を実施するための企画としては教職員間も含めて、妥当性の高い教育が実施されている。

8-2 教育の実施

[A] 8-2-1 開示されたシラバス・カリキュラムによって実施されている

[A] 8-2-2 教育に必要な教育用機器を活用している。

[A] 8-2-3 修了の要件が定められ、それに則って適切に修了認定が実施されている。

[A] 8-2-4 受講生の受講記録や提出物の管理を適切な形式で把握できている。

[A] 8-2-5 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。

【達成状況と改善点】

適正な教育実施が行われている。

8-3 成績の判定

[A] 8-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されている。

[A] 8-3-2 成績判定結果を的確に受講生に伝えている。

[ー] 8-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。

【達成状況と改善点】

8-3-3に関しては、まだ講座が始まったばかりであり、今後検証を行っていく方針である。

8-4 授業評価

[A] 8-4-1 授業評価を定期的実施している。

[A] 8-4-2 評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。

[A] 8-4-3 定期的な受講生による授業評価を行っている。

[C] 8-4-4 評価結果が教育内容の改善や教員の教育能力向上等の取り組みに活かされている。

【達成状況と改善点】

8-4-4 に関しては、今後定期研修実施の際に取り入れていく方針である。

9 教育成果

9-1 卒業生の状況把握

- 〔 B 〕 9-1-1 卒業生の状況を把握するための取り組みを行っている。
- 〔 B 〕 9-1-2 卒業後の進路を把握している。
- 〔 B 〕 9-1-3 卒業後の就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握している。

【達成状況と改善点】

卒業生の状況を把握する取り組みは行っているが、100%の把握はできていない現状である。また、日本語教育機関に就職した後の評価などは把握できるが、日本語教育機関以外への就労するケースもあり、100%の把握は難しい。今後卒業生ネットワーク化を図り、できる限りの情報収集に努めていく。

10 就労支援

10-1 就労支援

- 〔 A 〕 10-1-1 卒業後日本語教育機関等に就労を希望する受講生の就労におけた支援の取り組みを行っている。
- 〔 A 〕 10-1-2 卒業後何年経っても就労に係る支援を行っている。

【達成状況】

卒業生の中で日本語教育機関に就労を求める場合にはすべての校舎で担当者がおり、個別に相談できる体制になっている。また、具体的な就労支援の内容として、日本語教育機関の求人情報の提供、就職面接対策、就職時の模擬授業の教案添削を含めた対策を実施できている。

登録日本語教員養成及び登録実践研修機関名：株式会社アーク教育システム

学校名：アルファ国際学院

実施責任者：梶浦玄器

実施担当者（役職）：梶浦玄器（学院長）、黒木聡美（副学院長）、梶浦麻美（事務責任者）

亀有えり子（教務副主任）、水野正規（教務副主任）